

(株)オンダテクノ

岐阜市・専門サービス

平成29年度
認定

グループに分かれて1つのテーマを半年間かけて追究するQCサークル活動に長年取り組んでいる。より良い職場環境づくりのための改善提案制度もあり、直近5年間で394件の意見が寄せられ改善につなげるなど、社員の声を生かした職場づくりを進めている。

従業員数／男性127名 女性131名 計258名 ※平成30年2月現在



業務効率化やサービス向上を目的としたQCサークル活動。週1時間のミーティングを行い、グループごとに選んだテーマを追究している。

QCサークル活動で業務改善

33年前からQC(クオリティコントロール)サークル活動と銘打った業務改善活動を行っている。現在は全社員が40グループに分かれて活動。週1時間のミーティングで、選んだテーマを半年かけて追究する。「丸1日かかっていた外国送金のためのデー

タ作成を2時間でできるように改善した」「サーバー内の40000のファイルを10000ファイルまで減らし使いやすくした」などの成果があり、業務効率化や所定外労働の削減に結び付いている。経営に直結するような内容の提案もあり、恩田取締役は「企業として足りない部分を補ってもらっている。社員間にも自分たちで職場を良くしようという考えが根付いている。会社として重要な活動」と話す。

多様な働き方も推進。上司との相談の上、7～11時の範囲内で始業時間を調整できる。育児や介護、遠方からの勤務などの理由での在宅勤務も認めており、多い人は週4日、自宅で業務をこなす。特許技術者の八木陽子さんは週2日、在宅勤務をし、育児と仕事の両立を図る。「両方ともおろそかにしたくないと考えたとき、在宅勤務はちよ



週2日、在宅勤務を行っている八木陽子さん。「育児も仕事もおろそかにしたくないと考えたとき、ちょうどいい制度」と話す。

どいい。子どもの帰宅時に家にいられるのもうれしい」と話す。始業を45分早める時差出勤と1時間の時短勤務も取り入れており「制度のおかげで安心して働ける」と話す。恩田取締役は「優秀な人材の確保、定着はサービス品質に直結する。それぞれの能力や個性を存分に発揮できる職場環境の構築に今後も取り組んでいきたい」としている。